

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）							3 事業評価（Check）										
基本政策		第3章 基本政策 3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】					事業の実施状況		B		A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず						
施策領域		第7節 下水道					事業の必要性 【市民ニーズ】		B		A：高まっている B：変わらない C：薄れている						
施策項目		施策1 下水道の整備促進					事業の効率性 【見直す余地】		A		A：余地はない B：余地はある						
事業		排水施設管理					施策への貢献度		A		A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い						
所属		下水道課					事業の成果・分析				排水施設の清掃委託業務を実施した際に、伏越室内の施設が経年劣化による錆等により、腐食・欠損等していることが判明したため、施設の修繕を併せて行い、効率化を図ることができた。						
事業概要		利用者の快適な生活の確保や事故防止のため、排水施設の修繕、清掃等を行い、施設の機能維持を図る。															
実施形態		■市が直接実施 ■一部委託 □全部委託・指定管理 □その他															
実施根拠		■国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 □市独自の制度															
根拠法令等		下水道法															
2 事業実績（Do）							4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）										
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の方向性		Ⅲ I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
予算・決算	予算現額（円）		11,659,000		4,964,000												
	財源内訳	一般財源	11,659,000		4,964,000												
		特定財源等	0		0												
	支出済額（円）		11,656,558		3,291,311												
	不用額（円）		2,442		1,672,689												
執行率（％）		99.98%		66.30%													
実施内容		排水施設の修繕、清掃等を実施した。 なお、令和6年度については、閉塞している伏越施設の清掃が完了したため、定期清掃分のみとなり、実績値が減少した。					今後の取組方針				利用者の快適な生活の確保や事故防止のため、排水施設の清掃等を行い、今後も引き続き施設の機能維持を図っていく。						
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度							令和8年度		令和9年度		
活動指標・成果指標	指標名	単位															
	人孔、管渠等の清掃	千円	9,567		883												
	人孔、管渠等の修繕	千円	1299		1298												

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)					
基本政策		第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】				事業の実施状況		B		A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域		第7節 下水道				事業の必要性 【市民ニーズ】		B		A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目		施策1 下水道の整備促進				事業の効率性 【見直す余地】		A		A：余地はない B：余地はある	
事業		污水排水対策推進				施策への貢献度		A		A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属		下水道課				事業の成果・分析		污水管路ストックマネジメント計画に基づき、既存施設の正常な機能の維持に努めるため、污水管に管口カメラを入れ、劣化状況を調査ができたこと、また、既存の污水管改築工事を行うことができたことから、概ね目標どおりに進めることができています。また、新座駅北口土地区画整理地区内において、污水枝線の整備を行ったことから、生活環境の向上・改善及び自然環境の保全を図ることができています。			
事業概要		污水管路ストックマネジメント計画に基づき、既存施設の正常な機能の維持に努めるため、劣化状況を調査し、改築を実施する。また、生活環境の向上・改善及び自然環境の保全を図るため、污水枝線の整備及び污水枘の設置を推進する。									
実施形態		■市が直接実施 ■一部委託 □全部委託・指定管理 □その他									
実施根拠		■国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 □市独自の制度									
根拠法令等		下水道法									

2 事業実績 (Do)						4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)							
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の方向性 III I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	
予算・決算	予算現額 (円)		377,864,000		606,509,000								
	財源内訳	一般財源	56,732,700		160,069,331								
		特定財源等	122,300,000		197,900,000								
	支出済額 (円)		179,032,700		357,969,331								
	不用額 (円)		36,831,300		71,539,669								
執行率 (%)		47.38%		59.02%									
実施内容		污水管路ストックマネジメント計画に基づく既設管管口カメラ調査、既存の污水管に係る改築工事、新座駅北口土地区画整理地区内における污水枝線の整備等を実施した。											
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の取組方針 今後、法定耐用年数を経過する管渠が増加することが見込まれることから、污水管路ストックマネジメント計画に基づき、既存施設の正常な機能の維持に努めるため、管口カメラやテレビカメラ調査などにより、污水管の劣化状況を把握し、優先度を検討した上で、既存の污水管の計画的な改築を実施に努める。また、生活環境の向上・改善及び自然環境の保全を図るため、事業認可区域の計画的な整備を推進していく。	
活動指標・成果指標	指標名	単位											
	污水管渠整備延長	m	314		652								
	污水整備面積	ha	1542.3		1550.8								

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）						3 事業評価（Check）						
基本政策		第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】				事業の実施状況		B		A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域		第7節 下水道				事業の必要性【市民ニーズ】		A		A：高まっている B：変わらない C：薄れている		
施策項目		施策1 下水道の整備促進				事業の効率性【見直す余地】		A		A：余地はない B：余地はある		
事業		雨水排水対策推進				施策への貢献度		A		A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属		下水道課				事業の成果・分析		雨水幹線及び雨水枝線の整備については、概ね目標どおり整備を実施することができた。また、雨水管理総合計画に基づく雨水管整備を推進するための設計業務委託の着手ができたことから、今後を着実に推進していく必要がある。既存の雨水管調査については、簡易テレビカメラ調査及び潜行目視調査を実施することができ、概ね目標どおりに調査を進めることができている。				
事業概要		降雨時における雨水を速やかに排除し、安全で快適なまちづくりのため、雨水幹線及び雨水枝線の整備や溢水対策を推進する。また、雨水管理総合計画に基づく雨水管整備を推進する。										
実施形態		■市が直接実施 ■一部委託 □全部委託・指定管理 □その他										
実施根拠		■国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 □市独自の制度										
根拠法令等		下水道法										
2 事業実績（Do）						4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）						
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		
予算・決算	予算現額（円）		691,962,300		529,500,000							
	財源内訳	一般財源	74,603,100		160,929,580							
		特定財源等	388,300,000		181,400,000							
	支出済額（円）		462,903,120		342,329,580							
	不用額（円）		53,059,180		60,419,268							
執行率（％）		66.90%		64.65%								
実施内容		雨水幹線及び雨水枝線の整備のほか、雨水管理総合計画に基づく雨水管整備を推進を図るための、設計業務委託の着手、既存の雨水管に係る簡易テレビカメラ調査、潜行目視調査等を実施した。										
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		
	指標名	単位										
活動指標・成果指標	雨水管渠整備延長	m	731	342								
	雨水整備面積	ha	849.9	852.4								
今後の方向性		I		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了								
今後の取組方針		まず、既存雨水管の正常な能力を維持することが最重要であることから、令和7年1月の八潮の陥没事故を受けて維持・管理について国から調査等の法改正を含めた新たな判定基準や優先順位の考えが示された場合、速やかにストックマネジメント計画への反映をはかっていく。なお、令和7年度に雨水管を含めた現ストックマネジメント計画の見直しを予定しており、策定後速やかに計画的な予防保全に努めていく。 次に、降雨時における雨水を速やかに排除し、安全で快適なまちづくりのため、雨水幹線及び雨水枝線の整備や溢水対策の推進に努める。また、近年の降雨の局地化・激甚化や都市化の進展に伴い、既存雨水管の能力では対応できない状況があることから、新座市雨水管理総合計画に基づき、優先順位を付けて雨水管整備や更なる溢水対策に努める。また、想定を上回る降雨により浸水が想定される地域において、公共施設等を活用した効果的な浸水対策について、関係各課との協議等を含め検討していく。										